

## 気候非常事態宣言後の取組について

## 1 概要

本市では、気候変動対策の推進に関する確固たる方針として、令和2年3月23日に市議会の全会一致により「気候非常事態宣言」を表明いたしました。

つきましては、気候非常事態宣言後のこれまでの取組及び次年度実施予定の取組について、報告いたします。

## 2 これまでの取組

令和2年度において実施した取組については、次のとおりです。

なお、実施予定の取組においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染リスクを伴うものについては延期しています。

気候変動に関する啓発	①気候変動に関する啓発用パネルの作成 ②市のフェイスブック及びホームページによる、温室効果ガス排出状況、コロナ禍における家庭での省エネ対策等の情報発信
温室効果ガス排出量に関する基礎調査	2050年「実質排出ゼロ」に向けたシナリオを検討するための基礎調査
他の自治体との連携	ゼロカーボン市区町村協議会※への参画

※ 2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目標として掲げ、脱炭素社会への実現に向けた取組に賛同する市区町村で組織する協議会。課題等の研究、国等への政策提言の実施を目的とする。

## 3 次年度に予定する主な取組

マイボトル普及の推進	ペットボトルの使用を減らすとともに、プラスチックごみ削減に対する意識向上を図るため、マイボトルの普及を推進する。
家庭用燃料電池及び蓄電池への補助	家庭用燃料電池及び蓄電池の導入を促進するため、機器の購入にかかる費用の一部を補助する。 住宅におけるエネルギー利用の効率化を図り、家庭から排出される二酸化炭素を削減する。
地域循環共生圏構築に関する検討	脱炭素社会の実現に向けて、「環境・社会・経済」の統合的向上を図るため、再生可能エネルギーを活用した地域循環共生圏構築の検討を行う。
明石の大切にしたい生きもの(明石市レッドリスト)の周知	レッドリストガイドブックを作成し、地球温暖化をはじめとする急激な環境の変化により危機的状況にさらされている動植物の現状について、周知を行う。
啓発用パネルの活用	市民に気候変動に関する理解を深めてもらうため、今年度作成する啓発用パネルを活用する。